

# 第三次経営推進プランの経営目標に対する平成29年度の達成状況について

長野県立総合リハビリテーションセンター

## はじめに

総合リハビリテーションセンターでは、「第三次経営推進プラン（計画期間：平成27～29年度）」に基づき、経営を推進し、サービスの向上に取り組んでまいりました。

当プランに掲げる経営目標に対する、プラン最終年次である平成29年度の達成状況について、次のとおり公表します。

## 第1 全体目標の達成状況

全体目標	平成29年度実績	備考
① センター使用料収入額 13億円以上の達成	12億7,439万円余	医業収入 11億4,234万円余 施設収入 1億3,205万円余
② 病院部門における職員給与費の 1.9倍以上の医業収入の確保	1.86倍	職員給与費 6億1,488万円余

### ① センター使用料収入額について

○医業収入は、前年度比8.2%減の11億4,234万円余となり、減少しました。

○施設収入は、前年度比20.0%減の1億3,205万円余となり、減少しました。

○その結果、医業収入と施設収入を合わせたセンター使用料収入額は、12億7,439万円余で、前年比9.5%減となり、プランの全体目標である「13億円以上」をほぼ達成しました。

(参考)

《医業及び施設収入の推移》

(単位：百万円)

(年度)	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
医業収入	1,118	1,272	1,284	1,244	1,142
施設収入	160	173	166	165	132

### ② 職員給与費について

○医業収入の11億4,234万円余は、病院部門の職員給与費6億1,488万円余の1.86倍であり、プランの全体目標である「1.9倍以上」をほぼ達成しました。

## 第2 個別目標の達成状況

各部署の業務等に関し設定している個別目標の達成状況は次のとおりです。

区 分		平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成29年度 目標値
更生 相談	更生相談件数	7,785 件	7,995 件	6,500 件
	出前講座開催件数（3年間） ※1	14 件	23 件	10 件
障 が い 者 支 援 施 設	新規施設利用者数	57 人	57 人	75 人
	うち病院部門経由	20 人	15 人	30 人
	1日平均利用者数 ※2	56.2 人	47.2 人	64.0 人
	施設利用率 ※3	70.3 %	59.0 %	80.0 %
	理学療法実施延べ人数	9,172 人	7,994 人	10,500 人
	理学療法実施総時間数	5,695 時間	5,394 時間	5,000 時間
	作業療法実施延べ人数	7,463 人	6,887 人	8,500 人
	作業療法実施総時間数	6,456 時間	6,305 時間	6,500 時間
医 療	医師数	7 人	6 人	7 人
	看護師数 ※4	54 人	54 人	54 人
	外来患者数	20,444 人	19,437 人	18,000 人
	手術件数（整形外科）	470 件	407 件	450 件
	神経ブロック件数	100 件	98 件	200 件
	入院患者数	682 人	624 人	670 人
	病床利用率（1階病棟） ※5	71.3 %	72.3 %	75 %
	病床利用率（2階病棟） ※5	78.5 %	72.3 %	76 %
	2階病棟個室利用率	90.0 %	79.6 %	81 %
	平均在院日数（1階病棟）	84.8 日	93.6 日	83.8 日
	平均在院日数（2階病棟）	19.2 日	19.7 日	20.1 日
	転院患者受入件数（1階病棟）	83 件	93 件	90 件
	MRI 依頼検査件数 ※6	54 件	45 件	60 件
	CT 依頼検査件数 ※6	1 件	2 件	12 件
	ジェネリック薬品使用率 ※7	14.8 %	18.0 %	12.9 %
	理学療法士数 ※4	～5月 13 人 6月～ 12 人	14 人	14 人
	作業療法士数 ※4	～12月 8 人 1月～ 7 人	8 人	8 人
	言語聴覚士数 ※4	3 人	3 人	3 人
	理学療法実施延べ人数	17,465 人	17,346 人	18,887 人
	理学療法実施総単位数	32,984 単位	35,157 単位	37,584 単位
	作業療法実施延べ人数	9,044 人	8,935 人	8,859 人
	作業療法実施総単位数	16,182 単位	16,414 単位	16,479 単位
	言語聴覚療法実施延べ人数	4,591 人	4,712 人	3,901 人
	言語聴覚療法実施総単位数	8,637 単位	9,033 単位	7,607 単位

区 分		平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成29年度 目標値
補 装 具	義肢装具士数 ※4	3 人	3 人	3 人
	義肢装具製作件数	168 件	151 件	210 件
	義肢装具修理件数	192 件	184 件	210 件
	補装具費要否判定件数 (義肢装具士が関わるもの) ※8	324 件	288 件	420 件
	補装具適合判定件数 (義肢装具士が関わるもの) ※8	37 件	24 件	70 件
エ コ ロ ジ ー & エ コ ノ ミ ー	電気使用量の削減 ※9	3.5% 削減	5.1% 削減	1.5% 削減
	燃料(灯油、重油)使用量の削減 ※9	10.4% 削減	10.2% 削減	1.0% 削減
	水道使用量の削減 ※9	34.7% 削減	42.4% 削減	5.0% 削減
	用紙類の削減 ※9	27.4% 削減	54.3% 削減	1.0% 削減

注 ※1 出前講座開催件数(3年間)は、平成29年度実績はH27年度からの累計数値、平成29年度目標値はH27~29年度の合計数値

※2 1日平均利用者数は、(訓練付短期入所者を含む入所者数+通所利用在籍者)÷365日

※3 施設利用率=1日平均利用者数÷定員80人×100

※4 看護師数、理学療法士数、作業療法士数、言語聴覚士数、義肢装具士数は、代替職員を含み、休業中の職員を含まない。

※5 病床利用率=(在院患者延数+退院患者数)÷(365日×40床)×100

※6 MRI依頼検査件数、CT依頼検査件数は、他院からの依頼を受けて実施するMRI検査、CT検査の件数

※7 ジェネリック薬品使用率=採用している後発医薬品品目数÷採用医薬品全品目数×100

※8 補装具費要否判定件数(義肢装具士が関わるもの)には、書類判定を含む。補装具適合判定件数(義肢装具士が関わるもの)には、書類判定を含まない。

※9 電気使用量、燃料(灯油、重油)使用量、水道使用量、用紙類の目標値は、基準年度(H25年度)の使用量に対する削減率

### [更生相談]

○更生相談件数は目標に対して23%上回りました。

○出前講座は目標の2倍以上の23件となりました。(講座開催の目標値は3年間の合計数値)

### [障がい者支援施設]

○地域共生社会の実現を目指す施策が進められる中、地域における各種福祉サービスが充実してきていることもあり、当センターの新規施設利用者数、1日平均利用者数は目標を下回りました。

○理学療法実施総時間数は目標を約8%上回るとともに、作業療法実施総時間数は、ほぼ目標を達成した一方、それぞれの療法実施延べ人数は新規施設利用者数及び1日平均利用者数の減少に伴い、目標を下回りました。

### [医療]

○医師数は、整形外科医1名欠員が生じました。

○看護師数について目標の人員を確保することができました。

○脊椎手術・関節手術等の手術件数(整形外科)は、医師1名欠員により407件にとどまり、目標の450件を下回りました。神経ブロック件数は治療の効果により患者数が減少したこともあり、目標を下回りました。

○外来患者数は目標を達成しましたが、入院患者数は手術件数減少に伴う患者数の減もあり、目標を下回りました。

○1階病棟は、転院患者受入件数が93件と目標を上回りましたが、患者層の重症化、入院の長期化等により、病床利用率は目標を若干下回りました。2階病棟の病床利用率は、手術患者数の減少もあり目標を下回りました。

○MRI 依頼検査件数は45件ありましたが、目標の達成には至りませんでした。

○CT 依頼検査件数は、昨年度依頼検査体制を整備したことにより、2件の依頼がありました。

○ジェネリック薬品使用率は、上昇傾向で、目標を達成しました。

○理学療法の実施延べ人数及び実施総単位数は、医師1名欠員に伴う患者数の減少等により、いずれも目標を下回りました。

○言語聴覚療法は、実施延べ人数及び実施総単位数とも目標を大幅に上回りました。

### **[補装具]**

○義肢装具製作件数は、手術件数減少に伴い術後装着する頸椎装具の処方が減ったこと等による既製品装具の減により件数が減少しました。

○義肢装具士が関わる補装具費要否判定件数及び補装具適合判定件数は、判定種目の見直しを行ったこともあり減少しています。

### **[エコロジー&エコノミー]**

○すべての項目について、目標を達成しました。特に水道使用量及び用紙類について大幅に削減することができました。

### **おわりに**

第三次経営推進プランの計画期間は終了しましたが、引き続き第四次経営推進プランを策定し、職員一同、新たな経営目標に向かって努力してまいります。